

令和 2 年度医療的ケア児者支援社会資源現況調査集計結果（医療機関）

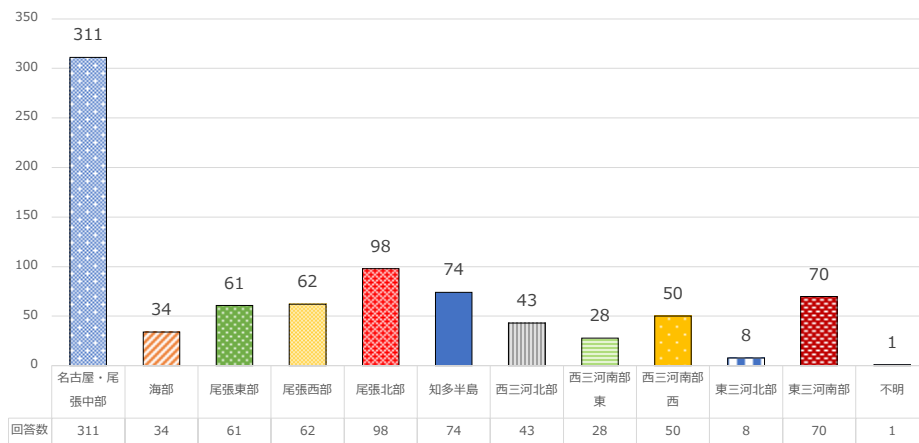
●回収率

送付数	返信数	回収率
2222	840	37.8%

●貴施設の連絡先を御記入ください

施設名			
施設所在地	愛知県		市・町・村
電話番号			
回答者	職		氏名

返信回答地域【N = 840】



名古屋市内の医療機関の回答が最も多く

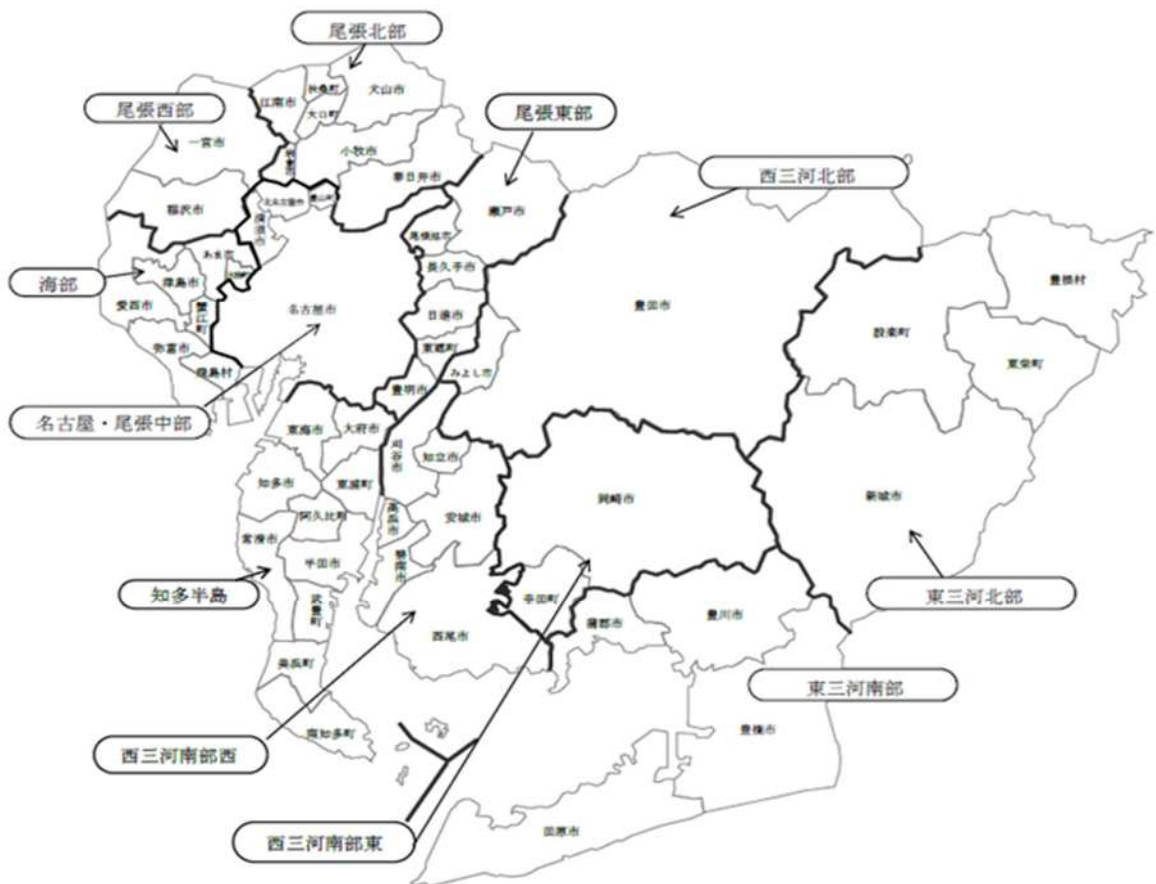
311 機関（37.0%）であった。

次いで尾張北部が 98 機関（11.7%）、

知多半島が 74 機関（8.8%）であった。

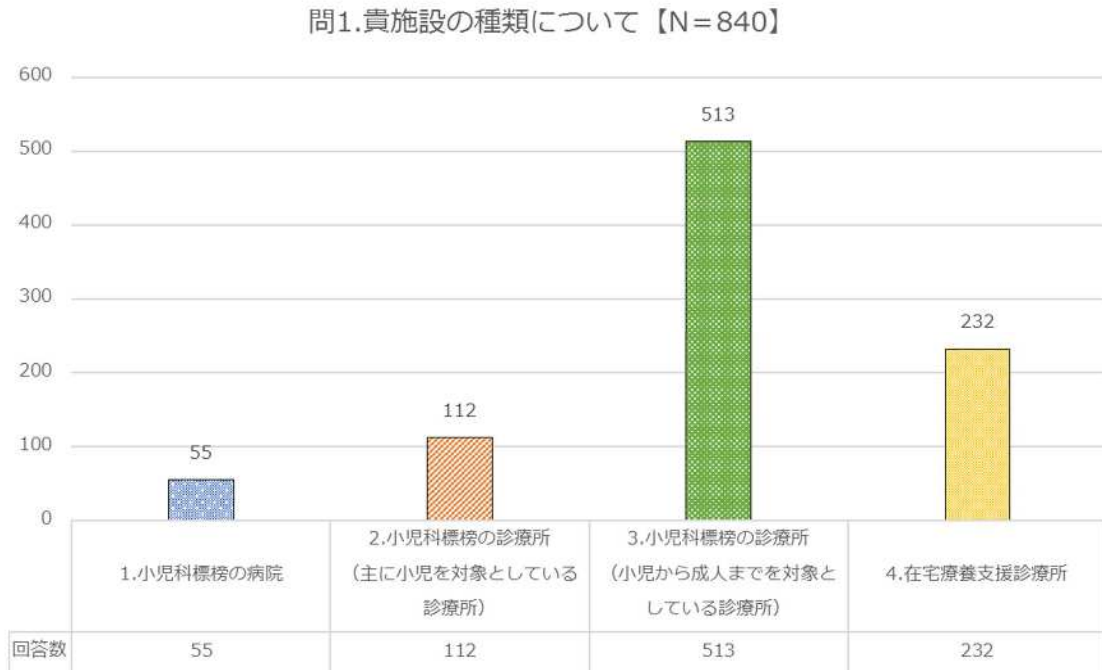
地区別	回答数	割合
名古屋・尾張中部	311	37.0%
海部	34	4.0%
尾張東部	61	7.3%
尾張西部	62	7.4%
尾張北部	98	11.7%
知多半島	74	8.8%
西三河北部	43	5.1%
西三河南部東	28	3.3%
西三河南部西	50	6.0%
東三河北部	8	1.0%
東三河南部	70	8.3%
不明	1	0.1%
合計	840	

圏域名	圏域に属する市町村
名古屋・尾張中部	名古屋市、清須市、北名古屋市、豊山町
海部	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
尾張東部	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町
尾張西部	一宮市、稲沢市
尾張北部	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町
知多半島	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、
西三河北部	豊田市、みよし市
西三河南部東	岡崎市、幸田町
西三河南部西	碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市
東三河北部	新城市、設楽町、東栄町、豊根村
東三河南部	豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市



I 貴施設についてお答えください

問1. 貴施設の種類について



最も多いのが「小児科標榜の診療所（成人まで対象）」の513機関（56.3%）であった。次いで「在宅療養支援診療所」の232機関（25.5%）、「小児科標榜の診療所（小児対象）」の111機関（12.2%）で

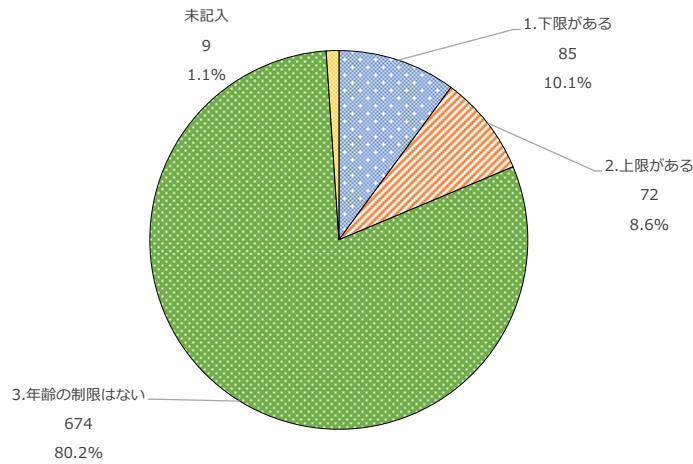
問1.貴施設の種類について	回答数	割合
1.小児科標榜の病院	55	6.0%
2.小児科標榜の診療所 (主に小児を対象としている診療所)	111	12.2%
3.小児科標榜の診療所 (小児から成人までを対象としている診療所)	513	56.3%
4.在宅療養支援診療所	232	25.5%
合計	911	

※上記は複数回答があり、回答数は一致しない。

II 診療の対象年齢等の状況についてお答えください

問2-1. 初めての受診時の年齢に関する制限について

問2-1.初めての受診時の年齢に関する制限について【N=840】



「年齢の制限はない」と回答した医療機関が最も多く 674 機関（80.2%）であった。

問2-1.初めての受診時の年齢に関する制限について	回答数	割合
1.下限がある	85	10.1%
2.上限がある	72	8.6%
3.年齢の制限はない	674	80.2%
未記入	9	1.1%
合計	840	

問2-1年齢内容	下限の回答数	割合	上限の回答数	割合
1歳未満	3	3.5%	0	0.0%
5歳未満	30	35.3%	4	4.7%
10歳未満	13	15.3%	2	2.4%
20歳未満	29	34.1%	53	62.4%
20以上	5	5.9%	9	10.6%
未記入	5	5.9%	4	4.7%
合計	85		72	

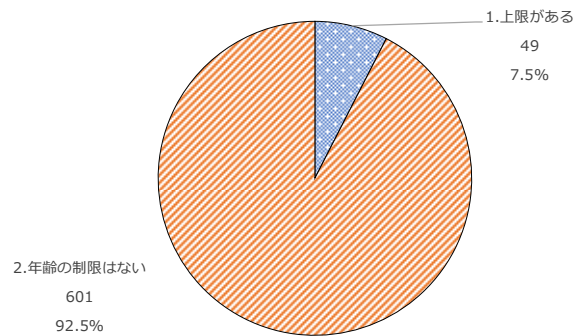
問2-1 下限がある理由	回答数
専門外、小児科ではないため	34
診察、対応経験がない、少ないため	18
体制・設備が整っていない	7
専門性が高い	4
常備薬の問題	3
その他	3
症状により見れない	2
未記入	14
合計	85

問2-1 上限がある理由	回答数
小児科のため	38
運営基準による	9
成人診療の経験が少ない	5
対応出来ない、専門外	5
その他	5
薬の問題	1
体制の問題	1
見切れない	1
未記入	7
合計	72

問2-2. 小児を対象とした診療を実施している施設へ

過去に受診歴がある方の受診の年齢に関する制限について

問2-2.小児科を対象とした過去に
受診歴がある方の受診の年齢制限【N=650】



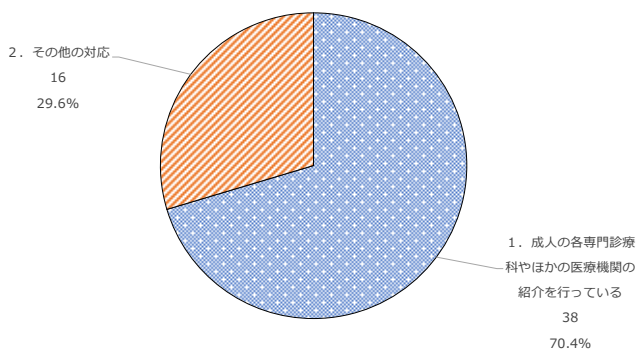
「年齢の制限はない」と回答した医療機関が最も多く 601 機関 (92.5%) であった。

問2-2.小児科を対象とした過去に 受診歴がある方の受診の年齢制限の有無	回答数	割合
1.上限がある	49	7.5%
2.年齢の制限はない	601	92.5%
合計	650	

問2-2 上限がある理由	回答数
運営基準による	21
小児科のため	10
体制の問題	1
対応出来ない、専門外	3
成人診療の経験が少ない	3
見切れない	1
薬の問題	1
未記入	9
合計	49

問2-3. 受診中の患者が対象の年齢を超えた場合の対応について、

問2-3.受診中の患者が対象の年齢を超えた場合の対応について
【N=54】



他の各専門診療科や紹介をしているとの回答が最も多く、38 件 (70.4%) であった。

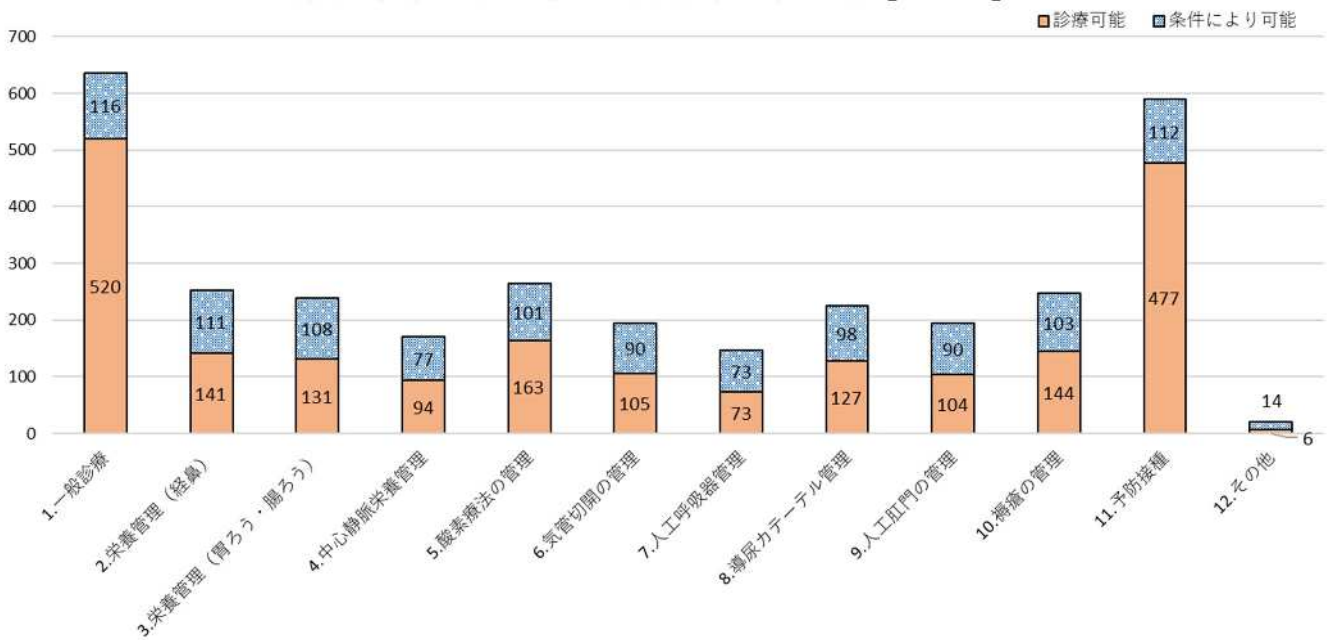
問2-3.受診中の患者が対象の年齢を超えた場合の対応について	回答数	割合
1. 成人の各専門診療科やほかの医療機関の紹介を行っている	38	70.4%
2. その他の対応	16	29.6%
合計	54	

問2-3 その他の対応	回答数
他科にて対応	3
特に対応なし	2
疾患、症状による	1
成人まで対応	1
受診科による	1
30才まで対応	1
超えても継続	1
1歳まで	1
投薬対応のみ	1
アレルギーのみ対応	1
未記入	3
合計	16

Ⅲ 医療的ケア児者への診療等の実施状況についてお答えください

問 3. 医療的ケア児者に対する外来診療の対応可否について

問3.医療的ケア児に対する外来診療の対応可否【N=840】



一般診療 520 件 (61.9%) や予防接種 477 件 (56.8%) については、診療可能と回答する医療機関が半数以上あった。

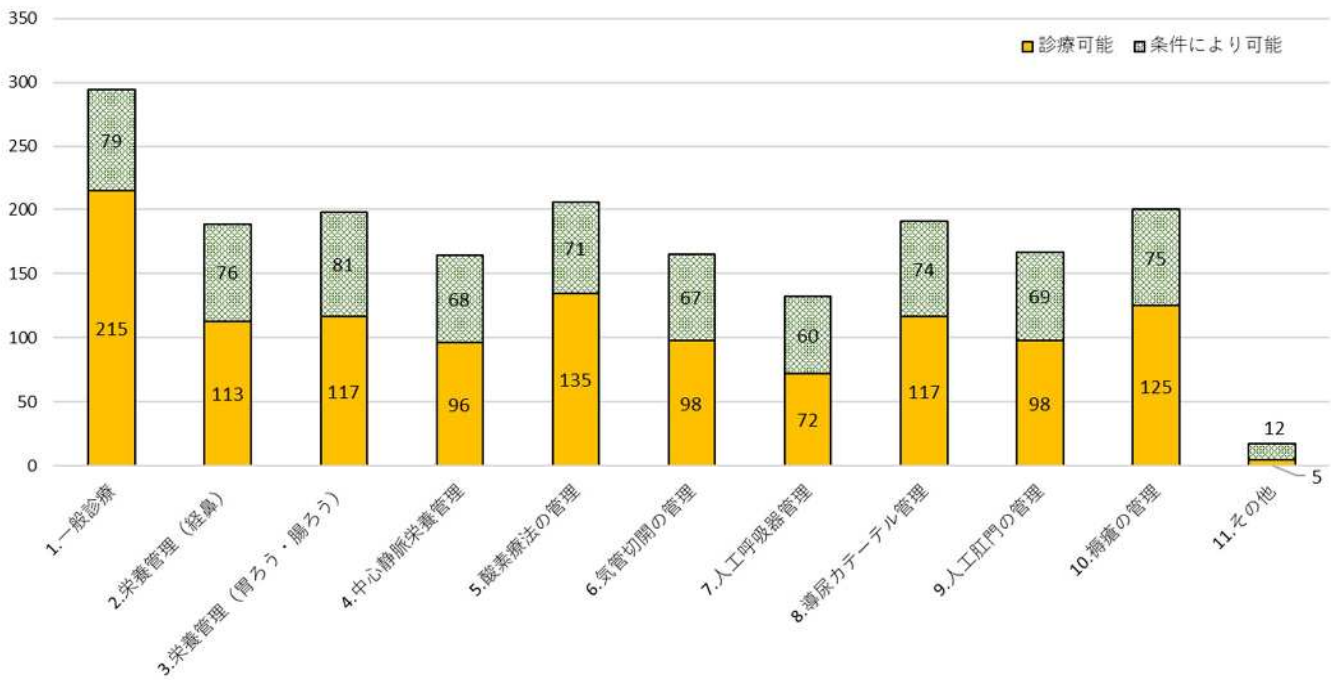
問3.医療的ケア児に対する外来診療の対応可否	診療可能		条件により可能		計	
1.一般診療	520	61.9%	116	13.8%	636	75.7%
2.栄養管理(経鼻)	141	16.8%	111	13.2%	252	30.0%
3.栄養管理(胃ろう・腸ろう)	131	15.6%	108	12.9%	239	28.5%
4.中心静脈栄養管理	94	11.2%	77	9.2%	171	20.4%
5.酸素療法管理	163	19.4%	101	12.0%	264	31.4%
6.気管切開管理	105	12.5%	90	10.7%	195	23.2%
7.人工呼吸器管理	73	8.7%	73	8.7%	146	17.4%
8.導尿カテーテル管理	127	15.1%	98	11.7%	225	26.8%
9.人工肛門管理	104	12.4%	90	10.7%	194	23.1%
10.褥瘡管理	144	17.1%	103	12.3%	247	29.4%
11.予防接種	477	56.8%	112	13.3%	589	70.1%
12.その他	6	0.7%	14	1.7%	20	2.4%

問3.その他の内容	
インシュリン	1
インフルエンザなどなら可	1
未記入	177
合計	179

問3.条件の具体例	
処置内容による	34
患者の症状による	26
緊急時の支援の連携が必要	22
病院の判断による	16
年齢によっては可能	11
暴れたりしなければ可能	10
体制・設備が整備出来れば可能	8
予防接種の種類による	7
来院出来るなら可	6
主治医が判明している方のみ	4
備品がある場合可能	4
実績なし	3
予約であれば可能	2
患者の症状による・処置内容による	2
その他	27

問 4. 医療的ケア児者に対する訪問診療の対応可否について

問4.医療的ケア児に対する訪問診療の対応可否【N=840】

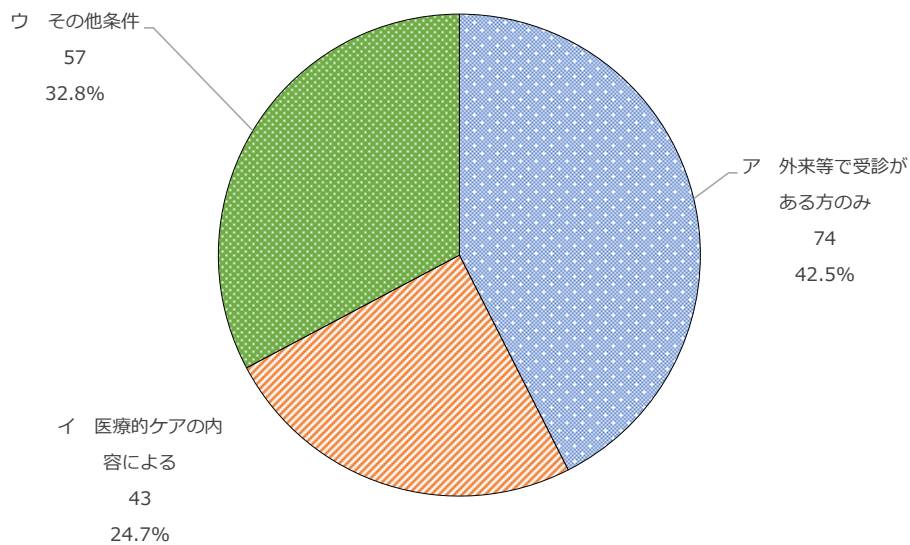


訪問診療については、一般診療では 215 件（25.6%）の医療機関が対応可能という回答であった。

問4.医療的ケア児に対する訪問診療の対応可否	診療可能		条件により可能		計	
1.一般診療	215	25.6%	79	9.4%	294	35.0%
2.栄養管理（経鼻）	113	13.5%	76	9.0%	189	22.5%
3.栄養管理（胃ろう・腸ろう）	117	13.9%	81	9.6%	198	23.6%
4.中心静脈栄養管理	96	11.4%	68	8.1%	164	19.5%
5.酸素療法の管理	135	16.1%	71	8.5%	206	24.5%
6.気管切開の管理	98	11.7%	67	8.0%	165	19.6%
7.人工呼吸器管理	72	8.6%	60	7.1%	132	15.7%
8.導尿カテーテル管理	117	13.9%	74	8.8%	191	22.7%
9.人工肛門の管理	98	11.7%	69	8.2%	167	19.9%
10.褥瘡の管理	125	14.9%	75	8.9%	200	23.8%
11.その他	5	0.6%	12	1.4%	17	2.0%

問4.その他内容	回答数
脳室ドレナージ	1
専門医の指導がないと無理	1
PCAポンプ	1
訪問診療は行っていない	1
インシュリン	1

問4.医療的ケア児に対する訪問診療の条件【N=174】



訪問診療の条件では「外来等で受診がある方のみ」が最も多く 74 件（42.5%）であった。

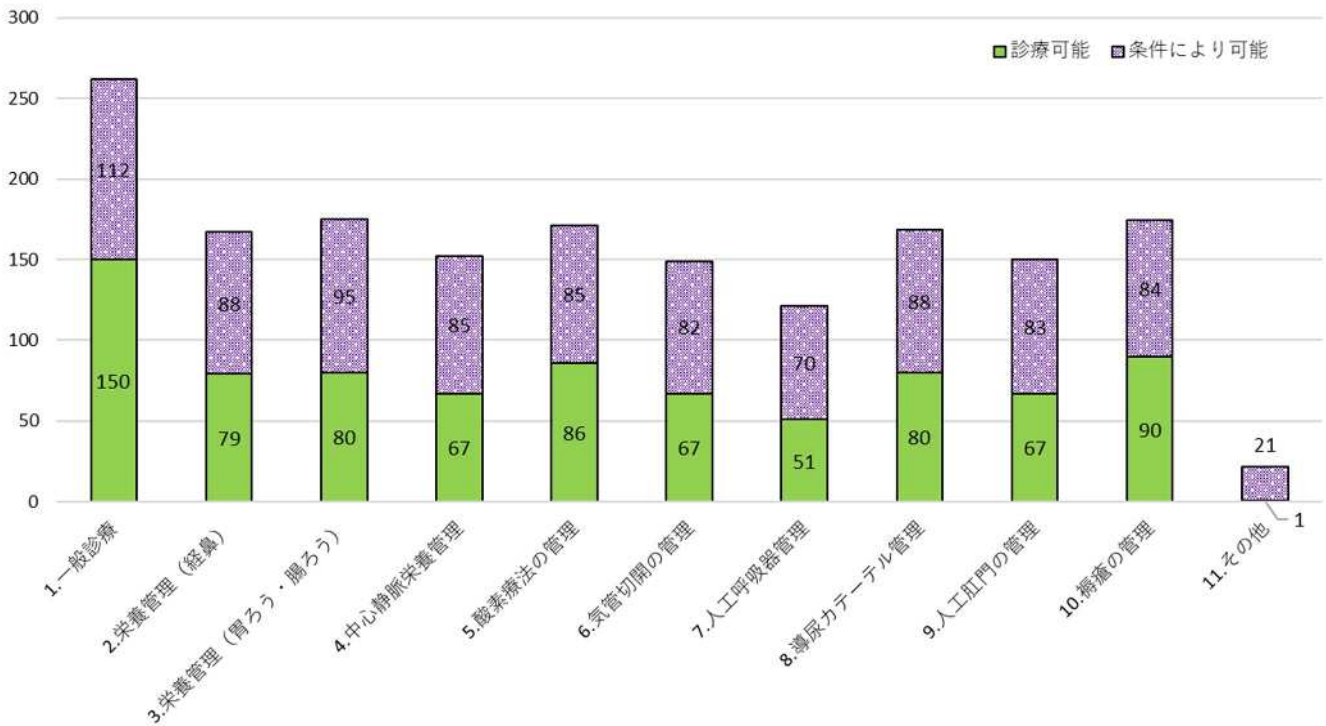
問4.医療的ケア児に対する訪問診療の条件	回答数	割合
ア 外来等で受診がある方のみ	74	42.5%
イ 医療的ケアの内容による	43	24.7%
ウ その他条件	57	32.8%
合計	174	

イ 医療的ケアの内容によるの具体例	回答数
他部署等の連携、体制次第	10
安定時ならOK	4
年齢、状態による	5
軽度の褥瘡のみ	3
処置内容による	3
経験がない	3
腸瘻は不可	2
状態による	1
その他	1
未記入	11
合計	43

ウ その他条件の具体例	回答数
症状による	8
余裕があれば可能	1
年齢による	10
他部署との連携があれば可	11
体制・設備があれば可能	2
医療ケアや処理内容による	4
訪問看護が必須	7
時間の問題	2
来院者のみ	1
その他	9
未記入	2
合計	57

問5. 医療的ケア児に対する緊急時等の往診の対応可否について

問5.医療的ケア児に対する緊急時の往診等の対応可否【N=840】

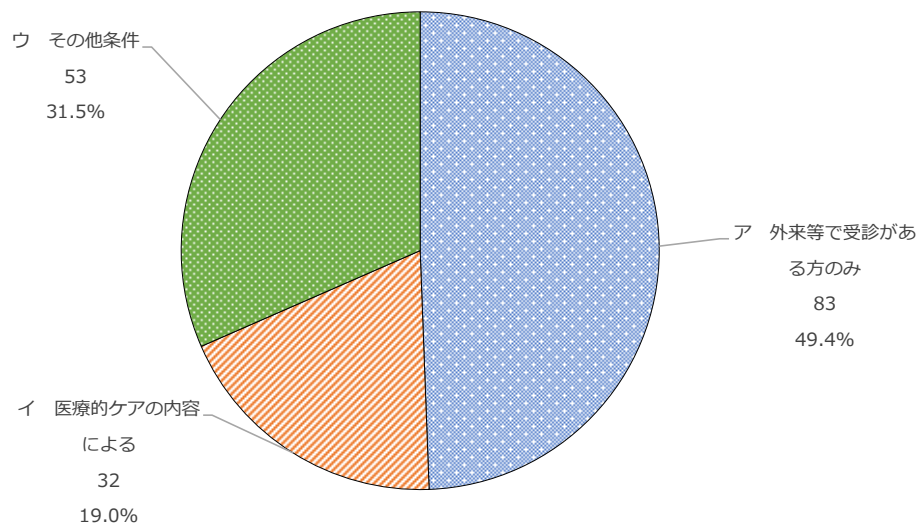


緊急時等の往診については一般診療 150 件（17.9%）で対応可能との回答があった。

問5.医療的ケア児に対する緊急時等の往診の対応可否	診療可能		条件により可能		計	
1.一般診療	150	17.9%	112	13.3%	262	31.2%
2.栄養管理（経鼻）	79	9.4%	88	10.5%	167	19.9%
3.栄養管理（胃ろう・腸ろう）	80	9.5%	95	11.3%	175	20.8%
4.中心静脈栄養管理	67	8.0%	85	10.1%	152	18.1%
5.酸素療法の管理	86	10.2%	85	10.1%	171	20.4%
6.気管切開の管理	67	8.0%	82	9.8%	149	17.7%
7.人工呼吸器管理	51	6.1%	70	8.3%	121	14.4%
8.導尿カテーテル管理	80	9.5%	88	10.5%	168	20.0%
9.人工肛門の管理	67	8.0%	83	9.9%	150	17.9%
10.褥瘡の管理	90	10.7%	84	10.0%	174	20.7%
11.その他	1	0.1%	21	2.5%	22	2.6%

問5.その他内容	回答数
PCAポンプ	1
インシュリン	1

問5. 医療的ケア児に対する緊急時等の往診の条件【N=168】



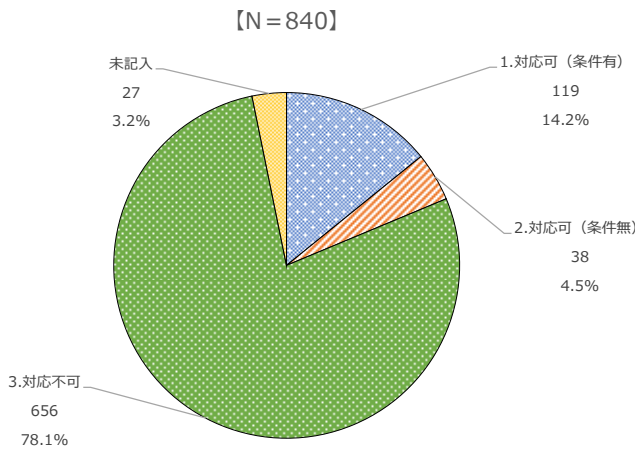
緊急時等の往診の条件は「外来等で受診がある方のみ」という回答が最も多く、83件（49.4%）であった。

問5. 医療的ケア児に対する緊急時等の往診の条件	回答数	割合
ア 外来等で受診がある方のみ	83	49.4%
イ 医療的ケアの内容による	32	19.0%
ウ その他条件	53	31.5%
合計	168	

イ 医療的ケアの内容によるの具体例	回答数	ウ その他条件の具体例	回答数
処理内容による	2	当施設の利用者のみ	13
他部署等の連携が必要	10	時間による	14
その他	6	他部署との連携があれば可	11
腸瘻は不可	2	年齢による	3
状態による	2	状態による	3
特殊器具を要するものは不可	1	その他	6
経験がない	1	未記入	3
未記入	8	合計	53
合計	32		

問6-1. 医療的ケア児に対する24時間（夜間・深夜を含む）の往診の対応可否について

問6-1.医療的ケア児に対する24時間 の往診の対応可否について

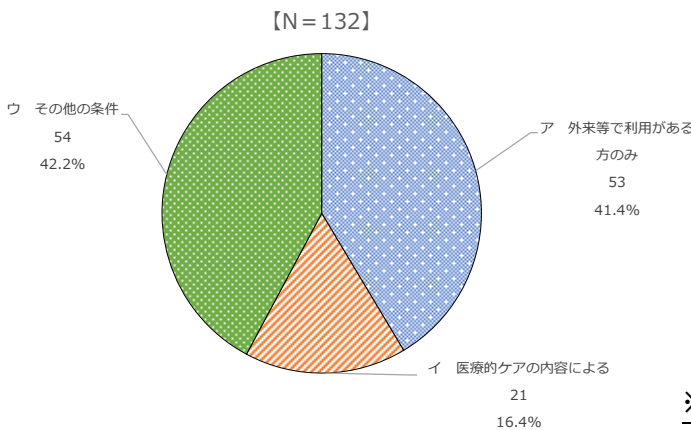


問6-1.医療的ケア児に対する24時間 の往診の対応可否について	回答済	割合
1.対応可 (条件有)	119	14.2%
2.対応可 (条件無)	38	4.5%
3.対応不可	656	78.1%
未記入	27	3.2%
合計	840	

医療的ケア児に対する24時間の往診対応については、「対応可（条件有）」119機関（14.2%）、「対応可（条件なし）」38機関（4.5%）の回答があり、合わせて157機関（18.7%）の医療機関が対応できることがわか

問6-2. 条件の内容について（医療ケアの内容、その他の条件）

問6-2.「1.対応可（条件有）」と回答した事業所の条件内容



問6-2.「1.対応可（条件有）」と回答した 事業所の条件内容	回答済	割合
ア 外来等で利用がある方のみ	53	40.2%
イ 医療的ケアの内容による	21	15.9%
ウ その他の条件	54	40.9%
未記入	4	3.0%
合計	132	

※上記は複数回答があり、回答数は一致しない。

医療的ケア児に対する24時間の往診対応に「条件があるが対応可」とした医療機関では、「外来等で利用がある方のみ」の条件が最も多く53件（40.2%）であった。

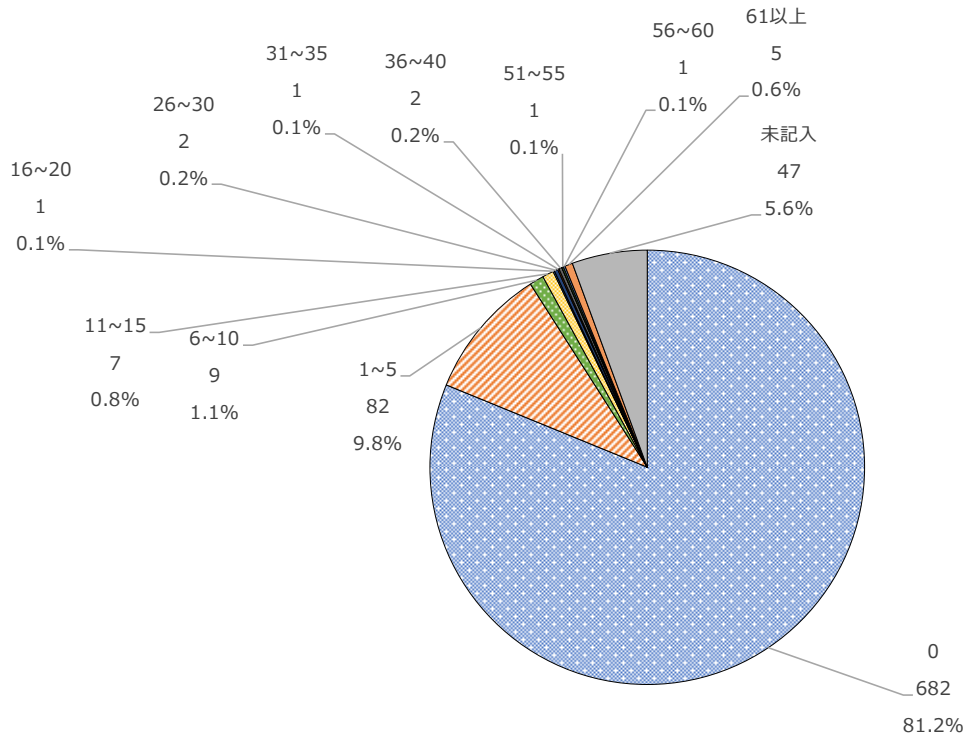
イ 医療的ケアの内容によるの具体例	回答数
処置内容による	4
他部署との連携があれば可	1
利用者のみ	1
その他	0
小児者以外	1
時間による	1
未記入	13
合計	21

ウ その他の条件	回答数
利用者のみ	17
時間による	9
他部署との連携があれば可	8
訪問看護必須	4
年齢による	2
症状による	2
体制と設備が整えば可	2
その他	6
未記入	4
合計	54

問7. 令和3年1月の一か月の間に、診療した医療的ケア児者の人数等について

問7.令和3年1月の1か月間に診療した医療的ケア児者の人数について

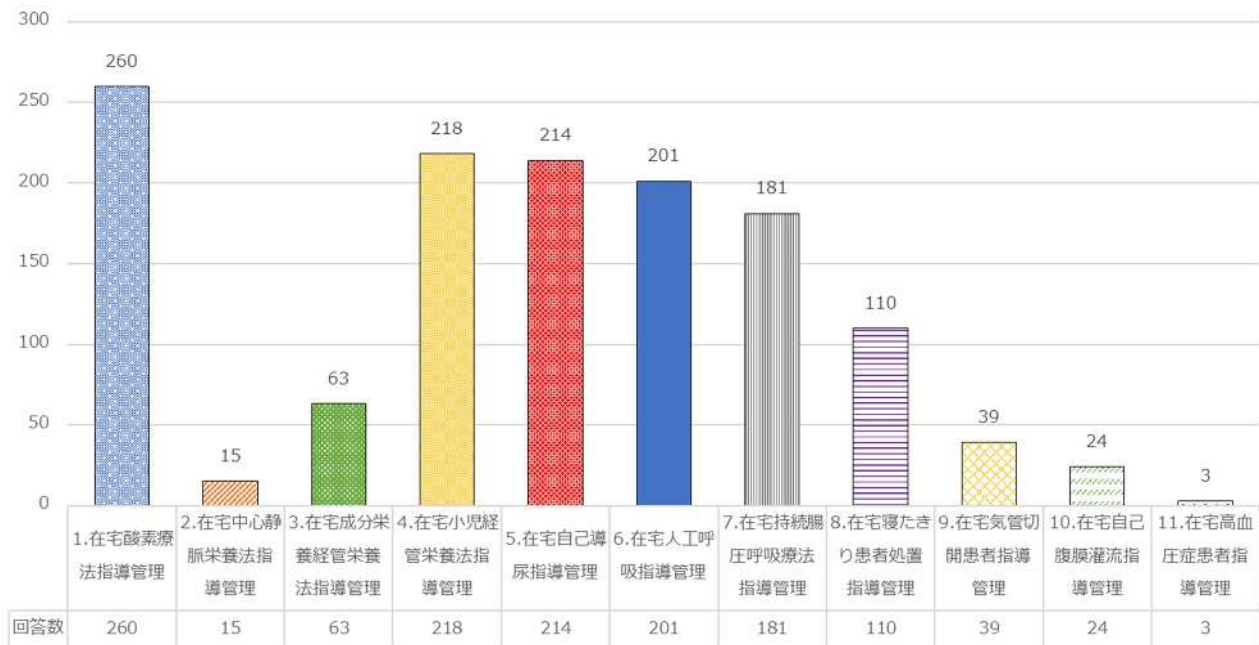
【N = 840】



問7.令和3年1月の一か月の ケア児者の受診者数 (実人数)	回答数	割合
0	682	81.2%
1~5	82	9.8%
6~10	9	1.1%
11~15	7	0.8%
16~20	1	0.1%
21~25	0	0.0%
26~30	2	0.2%
31~35	1	0.1%
36~40	2	0.2%
41~45	0	0.0%
46~50	0	0.0%
51~55	1	0.1%
56~60	1	0.1%
61以上	5	0.6%
未記入	47	5.6%
合計	840	

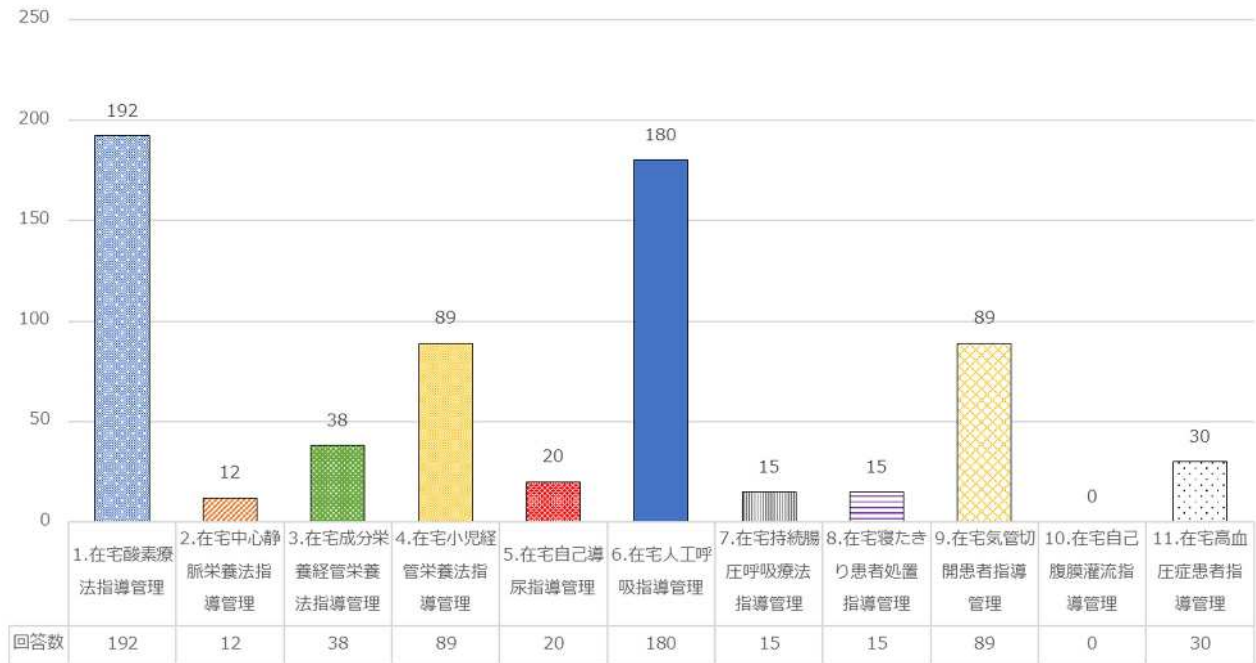
医療行為、外来訪問別 診療者数 (延べ人数)	外来	訪問	指導管理料 算定件数
1.在宅酸素療法指導管理	260	192	313
2.在宅中心静脈栄養法指導管理	15	12	20
3.在宅成分栄養経管栄養法指導管理	63	38	19
4.在宅小児経管栄養法指導管理	218	89	171
5.在宅自己導尿指導管理	214	20	207
6.在宅人工呼吸指導管理	201	180	313
7.在宅持続腸圧呼吸療法指導管理	181	15	180
8.在宅寝たきり患者処置指導管理	110	15	79
9.在宅気管切開患者指導管理	39	89	62
10.在宅自己腹膜灌流指導管理	24	0	25
11.在宅高血圧症患者指導管理	3	30	3

問7.【外来】令和3年1月の1か月間に診察・処置を行った延べ件数【N=840】



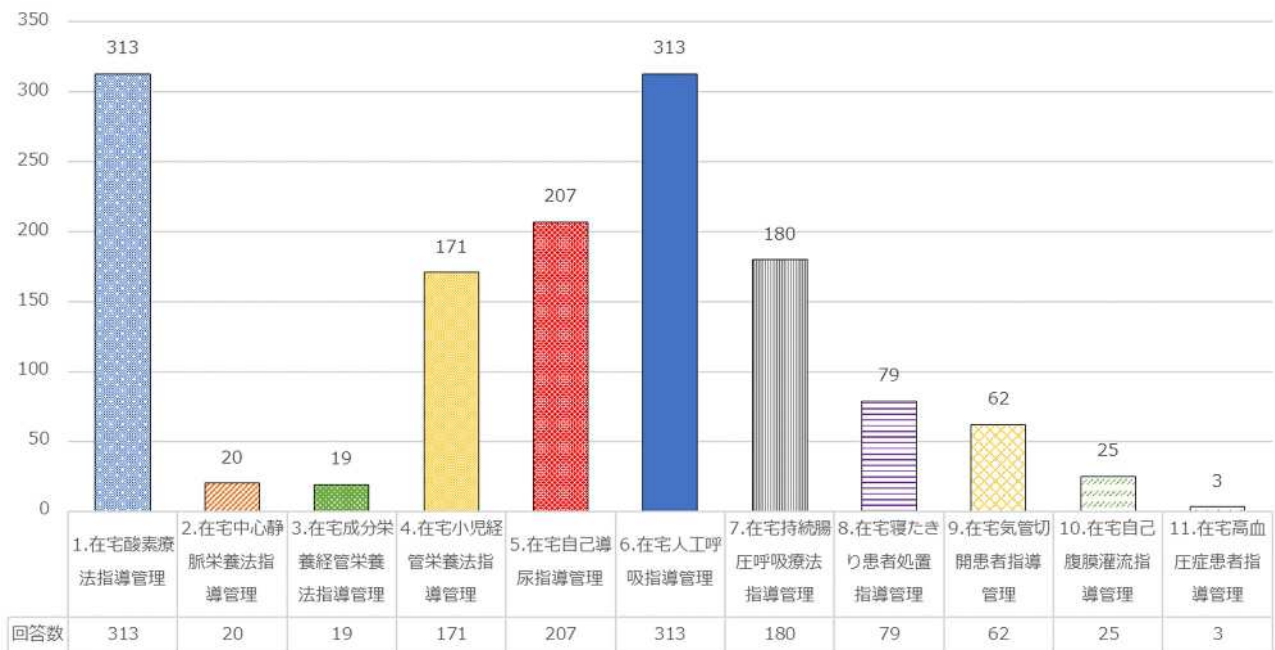
外来については「在宅酸素療法指導管理」260人（31.0%）が最も多く、次いで「在宅小児経管栄養法指導管理」の218人（26.0%）、「在宅人工導尿指導管理」の214人（25.5%）であった。

問7.【訪問】令和3年1月の1か月間に診察・処置を行った延べ件数【N=840】



訪問については、「在宅酸素療法指導管理」が192人（22.9%）で多く、次いで「在宅人工呼吸指導管理」の180人（21.4%）、「在宅気管切開患者指導管理」の89人（10.6%）であった。

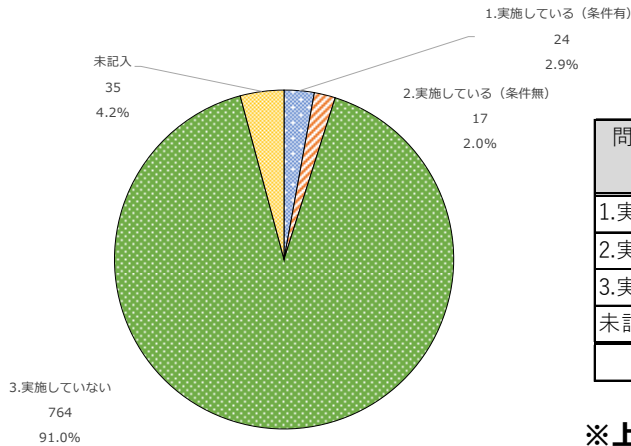
問7.指導管理料算定件数【N=840】



指導管理料算定件数については、同数で「在宅酸素療法指導管理」と「在宅人工呼吸指導管理」が313人（37.3%）、次いで「在宅自己導尿指導管理」が207人（24.6%）であった。

問 8-1. 訪問リハビリテーションの実施状況について

問8-1.訪問リハビリテーションの実施状況について【N=840】



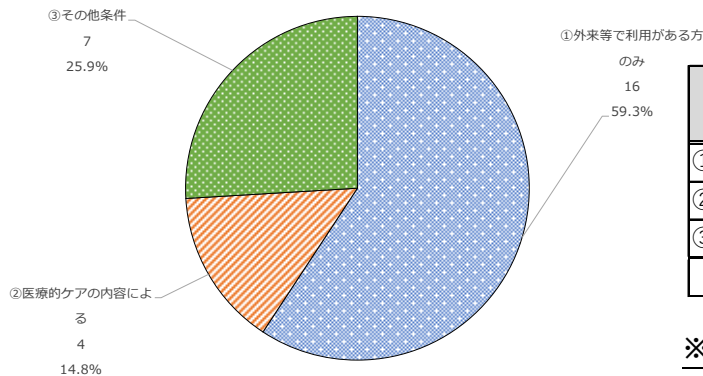
問8-1.訪問リハビリテーションの実施状況について	回答数	割合
1.実施している（条件有）	24	2.9%
2.実施している（条件無）	17	2.0%
3.実施していない	764	91.0%
未記入	35	4.2%
合計	840	

※上記は複数回答があり、回答数は一致しない。

訪問リハビリテーションについては「実施している」と回答した医療機関は、条件有・無を合わせると、41 機関（4.9%）であった。

問 8-2. 問 8-1 で、「1. 実施している（条件有）」を選択した施設へ条件の内容について

問8-2.実施している（条件有）と回答した際の実施条件【N=27】



問8-2.実施している（条件有）と回答した際の実施条件	回答数	割合
①外来等で利用がある方のみ	16	59.3%
②医療的ケアの内容による	4	14.8%
③その他条件	7	25.9%
合計	27	

※上記は複数回答があり、回答数は一致しない。

訪問リハビリテーションを実施している医療機関の条件は、「外来等で利用がある方のみ」が最も多く、16 件（59.3%）であった。

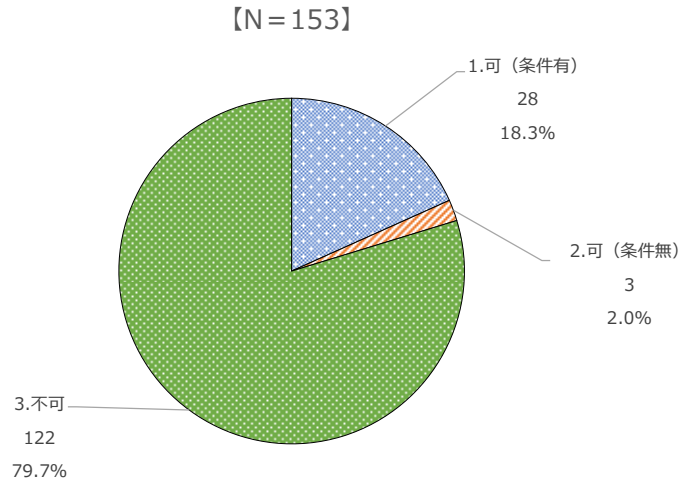
②医療的ケアの内容による具体例	回答数
外に出ることが難しい場合	1
対応施設があること	1
未記入	2
合計	4

③その他条件の内容	回答数
施設利用者のみ	3
成人、訪問診療者のみ	1
主治医が必要と判断した場合	1
その他	1
未記入	1
合計	7

問 9-1. 入院施設をお持ちの施設へ

医療的ケア児者のレスパイト入院への対応の可否

問9-1.入院施設をお持ちの事業所への質問
医療的ケア児者のレスパイト入院への対応の可否について



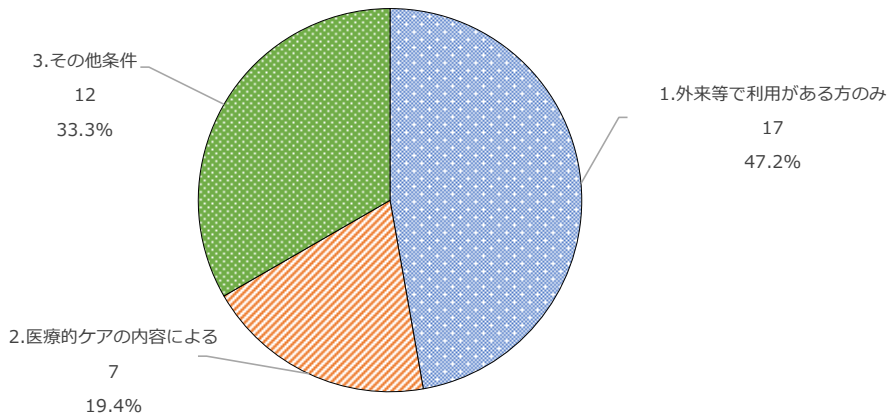
レスパイト入院の対応については条件有を含めると 31 機関 (20.3%) の医療機関が「可」の回答であった。

問9-1.入院施設をお持ちの事業所への質問 医療的ケア児者のレスパイト入院への対応の可否について	回答数	割合
1.可 (条件有)	28	18.3%
2.可 (条件無)	3	2.0%
3.不可	122	79.7%
合計	153	

問 9-2. 問 9-1.で、「1. 可 (条件有)」を選択した施設へ
条件の内容について

問9-2.「可 (条件有)」を選択した事業所への質問 条件の内容

【N = 36】



レスパイト入院の対応が出来る医療機関内で可能な条件は「外来等で利用がある方のみ」が最も多く 17 件 (47.2%) であった。

問9-2.「可 (条件有)」を選択した事業所への質問 条件の内容	回答数	割合
1. 外来等で利用がある方のみ	17	47.2%
2. 医療的ケアの内容による	7	19.4%
3. その他条件	12	33.3%
合計	36	

※上記は複数回答があり、回答数は一致しない。

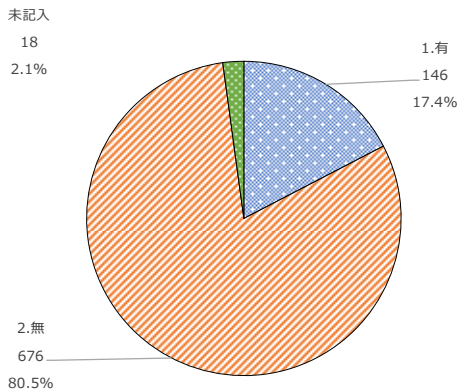
問9-2.医療的ケアの内容	回答数
呼吸器管理していない方	1
付き添い入院可能	1
その他	1
未記入	4
合計	7

問9-2.その他内容	回答数
安定した方のみ	3
来院されたことある方のみ	2
年齢による	2
ケア児の状況、人数による	1
その他	2
未記入	2
合計	12

IV 非常用電源設備の状況についてお答えください

問 10-1. 貴施設の非常用電源設備の設置状況について

問10-1.貴施設の非常用電源設備の設置状況について【N=840】



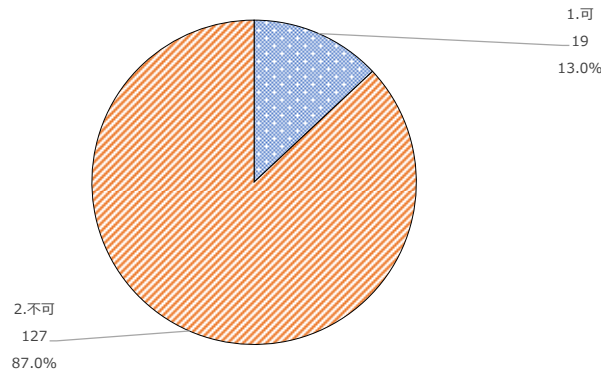
問10-1.貴施設の非常用電源設備の設置状況について	回答数	割合
1.有	146	17.4%
2.無	676	80.5%
未記入	18	2.1%
合計	840	

非常用電源設備は 146 機関（17.4%）の医療機関が「有」との回答であった。

問 10-2. 問 10-1.で、「1. 有」を選択した施設へ

災害時等における、非常用電源設備の在宅の医療的ケア児者への貸し出しの可否について

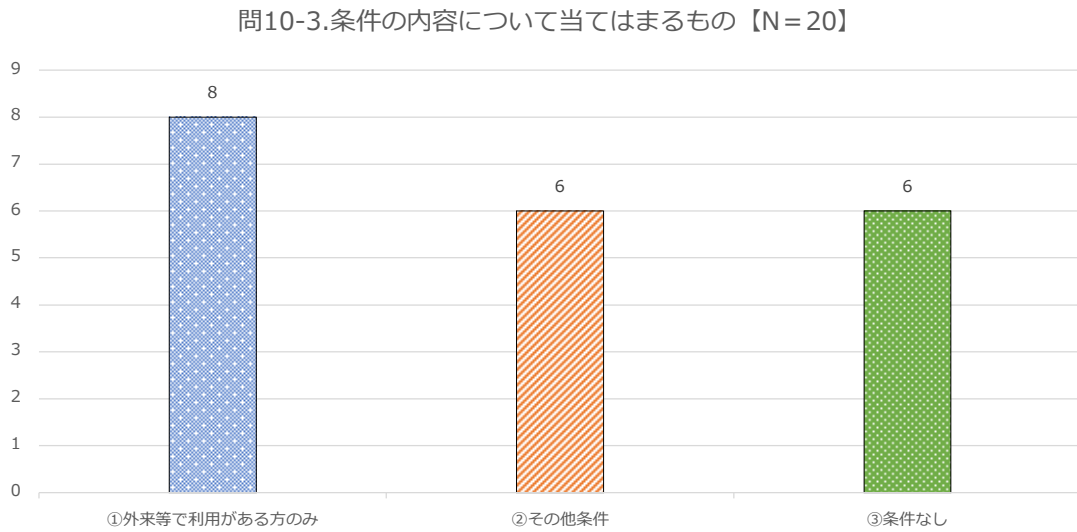
問10-2.災害時等における非常用電源設備の在宅の医療的ケア児者への貸し出しの可否について【N=146】



非常用電源について医療的ケア児への貸し出しは 19 機関（13.0%）の医療機関が「可」との回答であった。

問10-2.災害時等における非常用電源設備の在宅の医療的ケア児者への貸し出しの可否について	回答数	割合
1.可	19	13.0%
2.不可	127	87.0%
合計	146	

**問 10-3. 問 10-2.で、「1.可」を選択した施設へ
条件の内容について**



非常用電源の貸し出しが可能と回答した医療機関の貸し出し条件は、「外来等で利用がある方のみ」という回答が最も多く、8件（40.0%）あった。

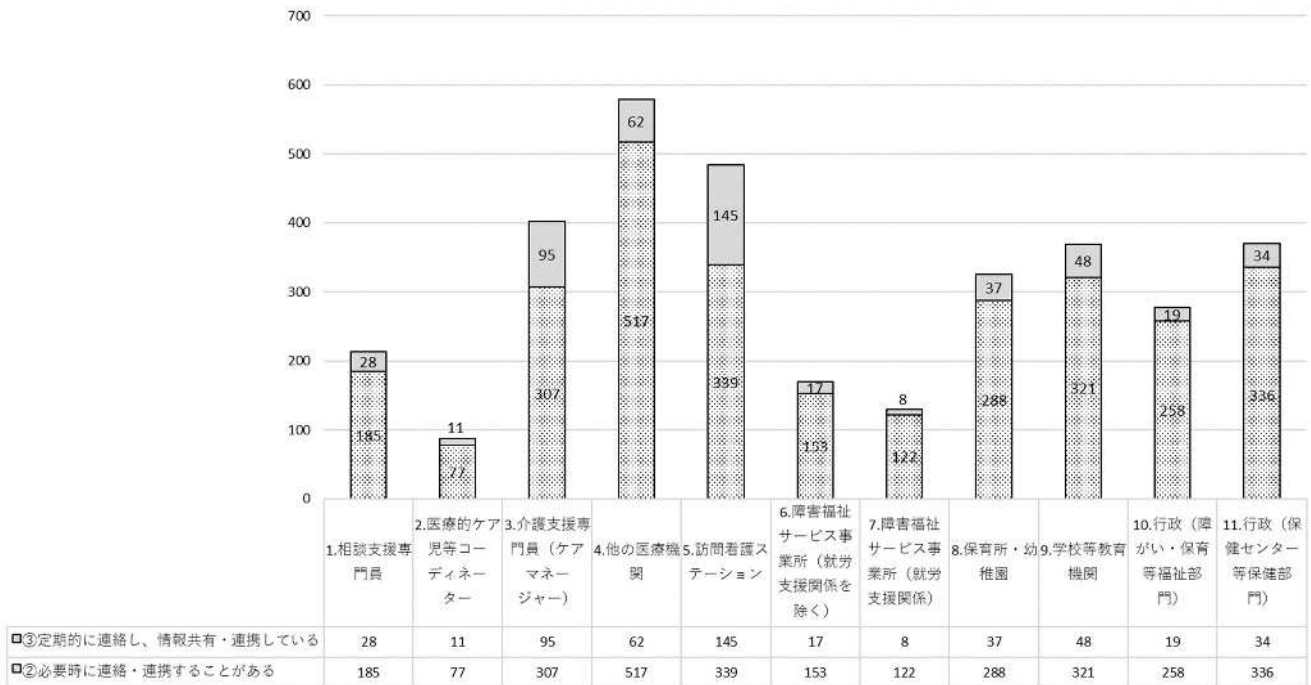
問10-3.条件の内容について当てはまるもの	回答数
①外来等で利用がある方のみ	8
②その他条件	6
③条件なし	6

10-3.その他内容	回答数
利用者のみ	3
その場の状況	1
広域災害以外なら可	1
先着	1

V 近隣関係機関との協力体制の状況についてお答えください

問 11. 貴施設として次の自施設以外の関係者・関係機関との連携状況について

問11.近隣関係機関との協力体制の状況について【N=840】



協力体制については、「定期的に」は、訪問看護ステーション 145 件（17.3%）が最も多く、「必要時に」は、他の医療機関 517 件（61.5%）、訪問看護ステーション 339 件（40.4%）と連絡、連携するところの回答であった。医療的ケアコーディネーターとはあまり連絡を取っていなかった。

問11.近隣関係機関との協力体制の状況について	必要時に連絡・連携することがある		定期的に連絡し、情報共有・連携している		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1.相談支援専門員	185	22.0%	28	3.3%	213	25.4%
2.医療的ケア児等コーディネーター	77	9.2%	11	1.3%	88	10.5%
3.介護支援専門員（ケアマネージャー）	307	36.5%	95	11.3%	402	47.9%
4.他の医療機関	517	61.5%	62	7.4%	579	68.9%
5.訪問看護ステーション	339	40.4%	145	17.3%	484	57.6%
6.障害福祉サービス事業所（就労支援関係を除く）	153	18.2%	17	2.0%	170	20.2%
7.障害福祉サービス事業所（就労支援関係）	122	14.5%	8	1.0%	130	15.5%
8.保育所・幼稚園	288	34.3%	37	4.4%	325	38.7%
9.学校等教育機関	321	38.2%	48	5.7%	369	43.9%
10.行政（障がい・保育等福祉部門）	258	30.7%	19	2.3%	277	33.0%
11.行政（保健センター等保健部門）	336	40.0%	34	4.0%	370	44.0%

◆具体的な内容（どんな時に連絡を取るか）

問11.近隣関係機関との協力体制の状況について 連絡を取る際の具体例 (いつ連絡を取るか)	1.相談支援専門員	2.医療的ケア児等 コーディネーター	3.介護支援専門員 (ケアマネジャー)	4.他の医療機関	5.訪問看護ステーション	6.障害福祉サービス事業所 (就労支援関係を除く)	7.障害福祉サービス事業所 (就労支援関係)	8.保育所・幼稚園	9.学校等 教育機関	10.行政 (障がい・保育等福祉部門)	11.行政 (保健センター等 保健部門)	合計
問題発生時	1	1	5	7	3	4	3	4	3	2	2	35
症状判明時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
状態変化時	7	5	9	9	11	6	4	5	6	6	5	73
上長不在時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
入退院時	4	1	2	7	1	0	1	0	0	0	0	16
定期的な会議時	2	1	3	6	4	2	1	1	6	3	3	32
サービス、施設利用時	2	2	5	3	3	0	0	0	0	0	0	15
必要時	11	4	18	32	20	7	6	12	14	12	18	154
連携、支援の際	3	3	3	3	2	3	3	3	2	2	2	29
常に連絡を取っている。	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
定期的	1	0	6	0	8	3	0	0	0	0	0	18
状況変化時	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	5
来院の際	2	1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	18
連絡があった際	2	0	3	5	4	2	1	2	4	1	4	28
備品必要な時	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
患者紹介時	0	0	1	60	1	0	0	0	0	0	0	62
処置内容変更時	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	12
訪問時	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	11	8	14	18	24	16	8	15	22	31	25	192
合計	40	22	61	136	62	29	21	30	38	29	37	505

「必要時」や「状態変化」時に連絡を取るとの回答が比較的多かった。

このことから、何かあった際に連絡を取ることはあるが、その他ではあまり連絡、連携をしていないと推測される。

◆具体的な内容（どのような連絡を取るか）

問11.近隣関係機関との 協力体制の状況について 連絡を取る際の具体例 (どのような内容か)	1.相談支援 専門員	2.医療的ケ ア児等 コーディネ ーター	3.介護支援 専門員（ケ アマネー ジャー）	4.他の医 療機関	5.訪問看 護ステー ション	6.障害福 祉サービ ス事業所 （就労支 援関係を 除く）	7.障害福 祉サービ ス事業所 （就労支 援関係）	8.保育 所・幼稚 園	9.学校等 教育機関	10.行政 （障が い・保育 等福祉部 門）	11.行政 （保健セ ンター等 保健部 門）	合計
服薬管理について	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
関連情報	1	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	10
各種サービスの利用調整・案内	4	2	12	12	1	2	0	1	1	3	3	41
施設入居者の連絡相談	1	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	6
患者の状態把握と連絡	9	4	26	17	36	6	6	4	5	4	6	123
FAXにて	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活状況等の確認	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
レポート送付	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
高齢患者の相談	1	0	7	3	3	0	0	0	0	0	1	15
患者の判定	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
訪問、診療内容について	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
文書にて	1	0	0	3	3	0	0	0	0	1	1	9
個別支援計画（ケアプラン）の作成見直し	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
健康相談・受診相談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	10
自己注射について	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
施設利用の調整や内容	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7
福祉用具の相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
利用者の情報共有	1	0	1	11	7	7	2	4	3	3	8	47
情報収集	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	6
処置内容	1	0	4	7	6	1	1	2	7	2	2	33
管理指導について	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	5
保険、制度について相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
書類や報告書について	0	0	13	3	2	0	0	0	2	2	0	22
居宅管理について	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
連携について	0	0	1	14	4	3	2	4	4	2	4	38
紹介内容	0	0	0	38	1	1	0	0	0	0	0	40
看護指示、報告	0	0	0	0	42	0	0	0	0	0	0	42
ご家族からの相談	0	0	0	0	0	1	1	2	2	1	3	10
園医関連	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	30
健診について	0	0	0	0	0	0	0	24	13	2	6	45
災害時の対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
予防接種について	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	21
合計	29	8	80	114	113	25	15	76	41	28	56	585

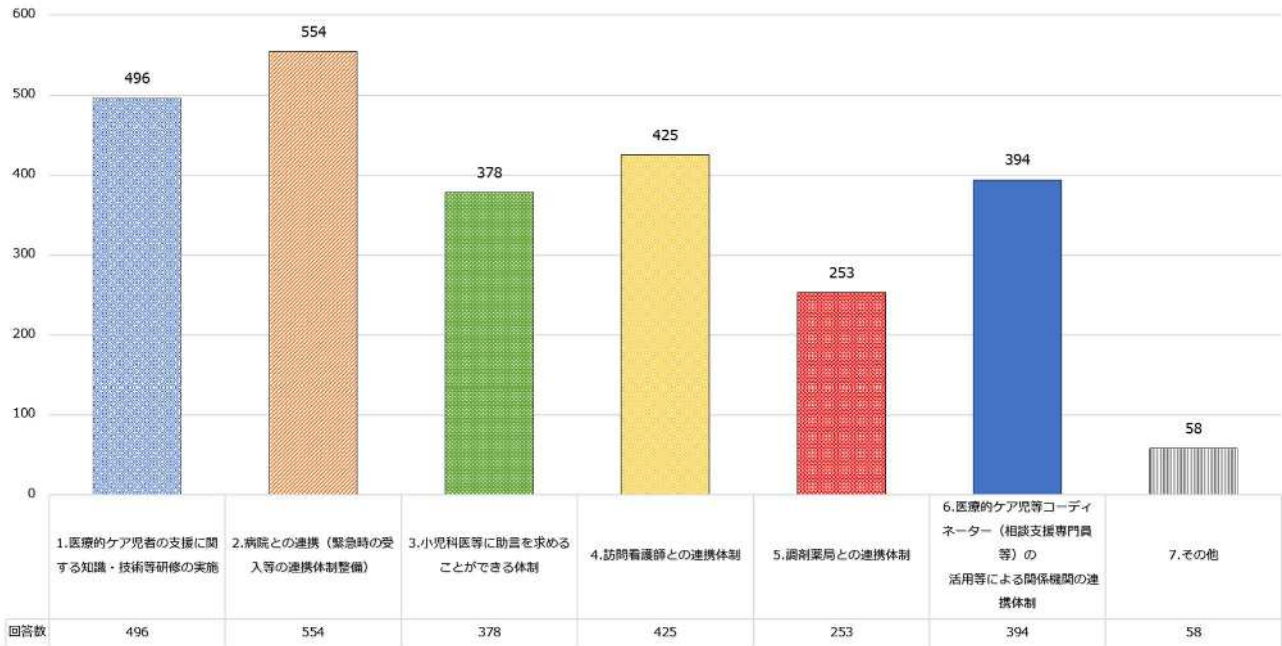
「患者の状態の把握と連絡」が他と比べると最も多かった。

次いで「利用者の情報共有」「健診について」「看護指示、報告」など対象者についての情報や症状などに関わることで連絡を取るという回答が多かった。

VI 医療的ケア児者の在宅生活支援等に関する意見等についてお答えください

問 12. 医療的ケア児者の在宅生活を支えるために必要な制度や支援

問12 医療的ケア児者の在宅生活を支えるためにはどのような制度や支援が必要だと考えますか。【N=840】



最も多いのが「病院との連携」で 554 件（66.0%）、次いで「医療的ケア児の支援に関する知識・技術等研修の実施」の 496 件（59.0%）、「訪問看護師との連携」の 425 件（50.6%）という順だった。一番少ない「調剤薬局との連携体制」でも 253 件（30.1%）との回答があり、すべての項目で必要だと考えていることがわかる。

問12.医療的ケア児者の在宅生活を支えるためにはどのような制度や支援が必要だと考えますか。	回答数	割合
1.医療的ケア児者の支援に関する知識・技術等研修の実施	496	59.0%
2.病院との連携（緊急時の受入等の連携体制整備）	554	66.0%
3.小児科医等に助言を求めることができる体制	378	45.0%
4.訪問看護師との連携体制	425	50.6%
5.調剤薬局との連携体制	253	30.1%
6.医療的ケア児等コーディネーター（相談支援専門員等）の活用等による関係機関の連携体制	394	46.9%
7.その他	58	6.9%

その他内容	回答数
分からない	14
各施設や行政の連携	5
なし	4
医療的ケアの対応研修	3
介護者の負担について	2
診療報酬の増額	2
マンパワーが足りない	2
コーディネーターについて	2
家族とのコミュニケーション	2
学校でのケア提供の充実	1
管理指導料の監査について	1
医療用電源の各家庭の補助	1
メディカルケアステーションの活用	1
医療的ケア児の生活の理解	1
海外の制度の検討	1
受入余地があるため、当院に相談して欲しい	1
物資切れや期限切れが多いため難しい	1
物品管理が大変、出費が多い	1
緊急時の支援体制について	1
高齢者のトランジションを段階的にすすめないと成れない	1
ショートステイ、福利厚生	1
報酬について	1
その他	8
未記入	1
合計	58

医療的ケア児者支援社会資源現況調査

【医療機関用】

送 信 先	愛知県福祉局福祉部障害福祉課 医療療育支援室 重症心身障害児者支援グループ 大谷宛て 電子メール iryouryouikusien@pref.aichi.lg.jp
-------------	--

※ 2021年1月末時点の状況についてお答えください。

【本調査における用語の定義及び解説】

医療的ケア児者	日常的に医療的ケアを必要とする障害児者のこと。 本調査では、次の11項目に該当する在宅で生活している※40歳未満の方を調査対象とする。 人工呼吸器管理、気管切開、鼻咽頭エアウェイ、酸素吸入、たんの吸引、ネブライザー、中心静脈栄養（IVH）、経管栄養（胃ろう、腸ろう・腸管栄養、経鼻）、腹膜透析、導尿、人工肛門
医療的ケア児等 コーディネーター	医療的ケア児等に関する専門的な知識を持ち、医療・福祉・教育等関係機関との調整を行うことにより、医療的ケア児者やその御家族への支援を行う。都道府県及び指定都市が養成研修を実施している。主な受講者は相談支援専門員、市町村保健師、訪問看護師等。

※「在宅で生活」とは、一度は在宅で生活していたが、調査時点で入院している児者及びグループホームに入所している児者は含む。また、障害児入所施設又は療養介護事業所等に入所している児者は含まない。

貴施設の連絡先を御記入ください

施設名			
施設所在地	愛知県		市・町・村
電話番号			
回答者	職		氏名

I 貴施設についてお答えください

問1 貴施設の種類についてお答えください。（当てはまる項目に○を記入してください。）

	1 小児科標榜の病院	
	2 小児科標榜の診療所（主に小児を対象としている診療所）	
	3 小児科標榜の診療所（小児から成人までを対象としている診療所）	
	4 在宅療養支援診療所	

II 診療の対象年齢等の状況についてお答えください

問2 貴施設における診療の対象年齢の制限等について

貴施設への受診における、年齢に関する制限の有無について、当てはまるものいずれかに○を記入してください。また、年齢に関する制限がある場合は、その状況と条件を設定している理由を記入してください。

問2-1 初めての受診時の年齢に関する制限について

	1 下限がある	歳 以上	理由	
	2 上限がある	歳 未満		
	3 年齢の制限はない			

問2-2 小児を対象とした診療を実施している施設への質問です。

過去に受診歴が有る方の受診の年齢に関する制限について（小児で受診歴がある患者が成人以降も受診を希望した場合を想定。病院にあっては、小児科における成人以降の継続受診を想定。）

	1 上限がある	歳 未満	理由	
	2 年齢の制限はない			

問2-3 問2-2で「1 上限がある」と回答した施設への質問です。

受診中の患者が対象の年齢を超えた場合の対応について、当てはまるものに○を記入してください。また、「2 その他の対応」とした場合、具体例を記入してください。

	1 成人の各専門診療科や他の医療機関の紹介をおこなっている	
	2 その他の対応	

Ⅲ 医療的ケア児者への診療等の実施状況についてお答えください

問3 医療的ケア児者に対する**外来診療**の対応可否について、当てはまるものいずれかに○を記入してください。その他の場合は()に具体的な内容を記入してください。また、「② 条件により可能」とした場合、条件の具体例を記入してください。

1 一般診療		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
2 栄養管理(経鼻)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
3 栄養管理(胃ろう・腸ろう)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
4 中心静脈栄養管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
5 酸素療法の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
6 気管切開の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
7 人工呼吸器管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
8 導尿カテーテル管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
9 人工肛門の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
10 褥瘡の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
11 予防接種		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
12 その他()		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可

↓ 条件の具体例を記入してください。

条件の具体例

問4 医療的ケア児者に対する**訪問診療**の対応可否について当てはまるものいずれかに○を記入してください。その他の場合は()に具体的な内容を記入してください。また、「②条件により可能」の場合は、条件の内容として当てはまるもの全てに○を記入してください。なお、医療的ケアの内容、その他の条件がある場合は()に具体例を記入してください。

1 一般診療		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
2 栄養管理(経鼻)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
3 栄養管理(胃ろう・腸ろう)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
4 中心静脈栄養管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
5 酸素療法の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
6 気管切開の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
7 人工呼吸器管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
8 導尿カテーテル管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
9 人工肛門の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
10 褥瘡の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
11 その他()		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可

↓ 条件の内容を選択し、具体例を記入してください。

ア	外来等で受診がある方のみ
イ	医療的ケアの内容による (具体例)
ウ	その他条件()

問5 医療的ケア児者に対する**緊急時等の往診**の対応可否について当てはまるものいずれかに○を記入してください。その他の場合は()に具体的な内容を記入してください。また、「②条件により可能」の場合は、条件の内容として当てはまるもの全てに○を記入してください。なお、医療的ケアの内容、その他の条件がある場合は()に具体例を記入してください。

1 一般診療		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
2 栄養管理(経鼻)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
3 栄養管理(胃ろう・腸ろう)		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
4 中心静脈栄養管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
5 酸素療法の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
6 気管切開の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
7 人工呼吸器管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
8 導尿カテーテル管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
9 人工肛門の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
10 褥瘡の管理		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可
11 その他()		① 診療可能		② 条件により可能		③ 診療不可

↓ 条件の内容を選択し、具体例を記入してください。

ア	外来等で受診がある方のみ
イ	医療的ケアの内容による (具体例)
ウ	その他条件()

問6-1 医療的ケア児者に対する24時間(夜間、深夜を含む。)の往診の対応可否について、当てはまるものいずれかに○を記入してください。

1 対応可(条件有)	⇒ 関連する問6-2にお進みください。
2 対応可(条件無)	⇒ 次は問7にお進みください。
3 対応不可	⇒ 次は問7にお進みください。

問6-2 問6-1で、「1 対応可(条件有)」を選択した施設への質問です。

条件の内容について、当てはまるもの全てに○を記入してください。、医療的ケアの内容、その他の条件がある場合は具体例を記入してください。

① 外来等で利用がある方のみ	
② 医療的ケアの内容による()	
③ その他条件()	

問7 令和3年1月の1か月間に、診療した医療的ケア児者の人数等について記入してください。

実人数	人
-----	---

※ 病院は、在宅療養指導管理料算定件数を記入してください。

診療所は、下記の医療行為を必要とする児者の診察・処置を行った延べ件数を、外来・訪問の欄にそれぞれ記入し、そのうち、在宅療養指導管理料を算定した場合は、算定件数も記入してください。

医療行為(診療報酬項目番号)	診察・処置を行った延べ件数		指導管理料算定件数
	外来	訪問	
1 在宅酸素療法指導管理 (C103)			
2 在宅中心静脈栄養法指導管理 (C104)			
3 在宅成分栄養経管栄養法指導管理 (C105)			
4 在宅小児経管栄養法指導管理 (C105-2)			
5 在宅自己導尿指導管理 (C106)			
6 在宅人工呼吸指導管理 (C107)			
7 在宅持続腸圧呼吸療法指導管理 (C107-2)			
8 在宅寝たきり患者処置指導管理 (C109)			
9 在宅気管切開患者指導管理 (C112)			
10 在宅自己腹膜灌流指導管理 (C102)			
11 在宅高血圧症患者指導管理 (C111)			

問8-1 訪問リハビリテーションの実施状況について、当てはまるものいずれかに○を記入してください。

1 実施している(条件有)	⇒ 関連する問8-2にお進みください。
2 実施している(条件無)	⇒ 次は問9-1にお進みください。
3 実施していない	⇒ 次は問9-1にお進みください。

問8-2 問8-1で、「1 実施している(条件有)」を選択した施設への質問です。

条件の内容について、当てはまるもの全てに○を記入してください。、医療的ケアの内容、その他の条件がある場合は具体例を記入してください。

① 外来等で利用がある方のみ	
② 医療的ケアの内容による()	
③ その他条件()	

問9-1 入院施設をお持ちの施設への質問です。

医療的ケア児者のレスパイト入院への対応の可否について、当てはまるものいずれかに○を記入してください。

1 可(条件有)	⇒ 関連する問9-2にお進みください。
2 可(条件無)	⇒ 次は問10-1にお進みください。
3 不可	⇒ 次は問10-1にお進みください。

問9-2 問9-1で、「1 可(条件有)」を選択した施設への質問です。

条件の内容について、当てはまるもの全てに○を記入してください。、医療的ケアの内容、その他の条件がある場合は具体例を記入してください。

① 外来等で利用がある方のみ	
② 医療的ケアの内容による()	
③ その他条件()	

IV 非常用電源設備等の状況についてお答えください

問10-1 貴施設の非常用電源設備の設置状況について、当てはまるものに○を記入してください。

1 有	⇒ 関連する問10-2にお進みください。
2 無	⇒ 次は問11にお進みください。

問10-2 問10-1で、「1有」を選択した施設への質問です。

災害時における、非常用電源設備の在宅の医療的ケア児者への貸し出しの可否について、当てはまるものに○を記入してください。

1 可	⇒ 関連する問10-3にお進みください。
3 不可	⇒ 次は問11にお進みください。

問10-3 問10-2で、「1 可」を選択した施設への質問です。

条件の内容について、当てはまるもの全てに○を記入してください。、その他の条件がある場合は具体例を記入してください。

① 外来等で利用がある方のみ
② その他条件()
③ 条件なし

V 近隣関係機関との協力体制の状況についてお答えください

問11 貴施設として、次の自施設以外の関係者・関係機関との連携状況について、当てはまるものに○を記入してください。

例えば、相談支援専門員でも人によって異なるという場合は、相談支援専門員の中で最も多い状況を選択してください。

また、②、③を選択した場合は、連携状況等を記入してください。

	当てはまる番号1つずつに○			左記で②もしくは③を選択した場合に記入 連絡・情報共有・連携の具体的な内容 (どのようなときに、どのような情報共有・連携をしているのか)
	① 連絡をとることはない	② 必要時に連絡・連携することがある	③ 定期的に連絡し、情報共有・連携している	
1 相談支援専門員	①	②	③	
2 医療的ケア児等コーディネーター	①	②	③	
3 介護支援専門員(ケアマネージャー)	①	②	③	
4 他の医療機関	①	②	③	
5 訪問看護ステーション	①	②	③	
6 障害福祉サービス事業所(就労支援関係を除く)	①	②	③	
7 障害福祉サービス事業所(就労支援関係事業所)	①	②	③	
8 保育所・幼稚園	①	②	③	
9 学校等教育機関	①	②	③	
10 行政(障害・保育等福祉部門)	①	②	③	
11 行政(保健センター等保健部門)	①	②	③	

6 医療的ケア児者の在宅生活支援等に関する意見等についてお答えください

問12 医療的ケア児者の在宅生活を支えるためには、どのような制度や支援が必要だと考えますか。

当てはまるもの全てに○を記入してください。また、その他の場合は具体例を記入してください。

1 医療的ケア児の支援に関する知識・技術等研修の実施
2 病院との連携(緊急時の受入等の連携体制整備)
3 小児科医等に助言を求められることができる体制
4 訪問看護師との連携体制
5 調剤薬局との連携体制
6 医療的ケア児等コーディネーター(相談支援専門員等)の活用等による関係機関の連携体制
7 その他()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。